

佳作

## 大智から学んだこと

兵庫県 姫路市立大塩小学校三年 田中 叶羽

ぼくが一年生の時、はじめてのいところが生まれました。名前は大智です。大智は生まれてすぐ病気が分かって大きな手じゅつをしました。ぼくは、大智が生まれた時ともうれしかったです。手じゅつや入院していた時は、とても心配ですごく会いたかったです。大智は、つらいちりょうをたくさんのりこえてきました。また、大智と同じように子供病院には、たくさんの子供たちが病氣とたたかっています。

大智は、一才をすぎたころから家ですごせることが多くなりました。ぼくの運動会に見にきてくれたり、水ぞく館や動物園など色々な所にでかけたり、ぼくの学校の帰りを「いにー!!」と大きな声でよびながらむかえに来てくれたりしました。入院していた分、大智とあそべることがほんとうにとってもう

れしかったです。大智はこしから下は動かないけど、ねがえりができるようになったり、手の力だけで動けるようになったり、三りん車にのれるようになったり、どんどん成長しました。足が動かなくても自分で動く方法を見つけて、大智はかっこいいと思います。

そして一才半すぎごろまた大きな手じゅつをしました。みつかるのが少しでもおくれたら、大智はたすけられなかったときいてはやくみつかってよかったです。その時二週間くらいごはんも水さえものめなくて、かわいそうでした。みんなしんぱいでたくさん泣きました。すこし、よくなって、家に帰ってきたと思ったら、今またちりょうのため入院しています。いつ、こきゅうがとまってもおかしくないと言われていきます。それをきいた時、ぼくは、信じられませんでした。なぜ大智ばかりがこんな目にあわないといけないのかと思いました。大智は今も病院でがんばっています。ぼくは、できるだけ会いに行ったり、メッセージカードをおくって大智に少しでも元気になってほしいので、パワーをおくっています。おぼんには、ひいおじいちゃんも亡くなりました。みんなで大智を守ってねとおね

がいました。

ぼくは、この夏休みに、大智ががんばって生きようとしていることやひいおじいちゃんのおそう式に出たことで、命の大切さを考えました。ぼくが学校に行ったり、サッカーをしたり、友だちと遊べたり、好きなものを食べたりできることは、とても幸せなことだとわかりました。大智には病院の先生がびっくりするくらい元気になってほしいです。ぼくも交  
通じこにあわないように、命を大切にしようと思います。